

発生箇所	③コンクリート版表面	
分類	材料・施工	
参考箇所	4-8-3 セットフォーム工法(12)締固め	
●内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通開放後、部分的に沈下し破損した。コアを採取し確認したところ、下部に締固め不足が発見された。</li> </ul>	
●原因	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工中に施工機械が故障停止し、コンクリートのコンシステンシーが低下した。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>
●発生防止策	<ul style="list-style-type: none"> <li>施工機械の故障など予定通りに施工できない場合は、人力による締固め、写真のように既にコンクリートを打設した箇所についてシート養生などでコンシステンシー低下の抑制を図る。コンシステンシーが低下し施工が困難になった場合は、コンクリートを廃棄する。</li> <li>施工機械の故障停止を防止するため事前に点検整備を徹底する。</li> </ul>	
●発生した場合の対応策	<ul style="list-style-type: none"> <li>打音検査やコア採取等により締固め不足範囲を特定し、当該箇所を打換えまたは局部打ち換えを行う。</li> </ul>	 <p style="text-align: center;">断面図</p>